

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	NAGANO 検定ジュニア実施事業
事業主体 (連絡先)	NAGANO 検定実行委員会
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業 ⑥ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	416,656 円 (うち支援金: 312,000 円)

事業内容

- 第1回 NAGANO 検定ジュニア実施 (H28.7.31)  
小学校5・6年生対象。受検者定員は240名。  
長野市内の小学校5・6年生が学習で使用している「わたくしたちの郷土(上水内教育会発行)」と、「なるほど!ワクワクながのNo.1~5」から出題。三択40問(検定時間45分間)
- 検定受検者に対するアンケート実施。
- 長野市教育委員会及び校長会、長野市PTA連合会と連携を深める。  
ジュニアテキスト作成について  
第2回検定実施について

事業効果

長野上水内教育会発行の社会科資料集「わたくしたちの郷土」は、長野市内の小学校5・6年生全員に配布されており、本検定受検者はもとより、長野市の魅力を再確認する機会となった。長野市内の小学校57校にポスターを掲出し、対象児童7,134名にチラシを配布。広く周知できた。

夏休みにあわせて検定を計画し申込みは73名。定員に届かなかったものの、長野市内31校の児童から検定の申込みがあった。また、受検者のうち夏休みの課題でNAGANO 検定ジュニアをテーマに新聞を書いた児童があり、地元について学ぶよい機会となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

検定終了後、受検者(ながのわくわくリーダーズ23名)にアンケートを実施。楽しかった、もっと詳しく知りたいなど、地元について学ぶことに興味をもった受検者が多かったため、今後も継続的に学ぶ機会をつくっていくことが課題。

第2回検定実施に向けて、当実行委員会で作成した「NAGANO 検定公式テキスト」のジュニア版(楽しく学べるテキスト)作成についても長野市の協力のもと進めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【検定会場の様子】

【目標・ねらい】

NAGANO 検定ジュニアを通して長野市の魅力を再認識することにより、将来のUターン就職などに繋がることを期待する。

※自己評価【B】

【理由】受検者は定員に届かなかったが、長野市内の半数近い小学校の児童から受検申込みがあったことは、広く周知できたとともに長野市の魅力を再認識することに繋がった。